

医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業
戦略的国際共同研究プログラム(SICORP)
日・英国共同研究（感染症） 事後評価結果

研究開発課題名	B 型および D 型肝炎ウイルスを標的とするインターフェロン誘導防御機構
研究開発代表者	渡士 幸一
代表機関	国立感染症研究所

○評価委員会コメント

本研究開発課題は、英国側が開発した ISGs の発現ライブラリーを日本側の HDV 複製細胞系でスクリーニングすることで、HDV の複製を低下させる ISGs を同定し、低下の分子機構解明を目的とした。日本側チームの HBV、HDV 実験系と英国側チーム（グラスゴー大学）のインターフェロン解析プラットフォームの双方の特徴を有効に活用しており、単独ではできないユニークな研究と言える。新たな Deltavirus の発見とインターフェロン誘導遺伝子の同定という二つの成果を挙げた。さらに、フランスのモンペリエ大学も共同研究に加わり、国際的な連携が強化されていることは評価できる。

一方で、本研究の当初目的であるインターフェロン誘導防御機構による HDV 複製阻害の分子機序解明についての成果は明示されていない。今後も英国と連携し、継続的な共同研究を期待する。